

平成24年電気学会全国大会開催のご案内について

**恒例により、特別講演、一部のシンポジウム、展示会を「一般無料開放」いたします。
電気学会における最大規模のイベントを是非一度、体験されてはいかがでしょうか。**

電気学会では、毎春恒例開催の全国大会を、平成24年3月21日（水）から23日（金）まで、広島工業大学（広島市佐伯区三宅2-1-1）で開催をいたします。

本大会は1,407件におよぶ一般講演や26テーマのシンポジウムが、全国の研究者、技術者により討論される、電気学会における最大の規模の会合で、会期中延べ10,000名を超える参加者が見込まれます。

広く一般にも開かれた学会を目指す電気学会は、ホームページの充実、出版物、セミナー、イベントなどの開催により、広く一般へ開かれた学会を目指して諸活動を展開中です。全国大会は、従来、研究者・技術者への研究発表および交流の場の提供を主な目的として運営して参りましたが、近年では全国大会においても「一般無料開放」の催し物を企画し好評を得ております。

今大会は“特別講演”“本部企画シンポジウム”“展示会”を「一般無料開放」いたします。皆様お誘い合わせの上、ご来場くださるようお願い申し上げます。いずれも直接、各会場へ入室して聴講・見学して下さい。

全国大会ホームページ <http://www2.iee.or.jp/ver2/honbu/03-conference/index.html>

1. 会期：平成24年3月21日（水）午前～23日（金）午後の3日間
2. 会場：広島工業大学
（広島市佐伯区三宅2-1-1）
アクセス図・キャンパスマップは下記からご覧になれます。
<http://www2.iee.or.jp/ver2/honbu/03-conference/12-taikai/access.pdf>

注1)：自家用車での来場はできません。

注2)：バス、タクシーは道路事情により遅延が予想されます。時簡に余裕を持ってご来場下さい。

注3)：有料参加受付は、各日午前8時30分から「ネクサス21 1階 受付」で行います。

3. 開催形態

一般講演、シンポジウム、特別講演、懇親会、附設展示会、技術見学会を実施

3/21（水）		3/22（木）			3/23（金）	
午前	午後	午前	午後	夜	午前	午後
一般講演	一般講演	一般講演	特別講演	懇親会	一般講演	一般講演
シンポジウム	シンポジウム	シンポジウム			シンポジウム	シンポジウム
附設展示会		附設展示会			附設展示会 技術見学会	

プレスリリース

①一般講演 (1,407件)

午前 (3時間) : 9時または9時30分開始, 12時または12時30分終了

午後 (4時間) : 13時または13時30分開始, 17時または17時30分終了

②シンポジウム講演

1) 部門提案 26 課題

午前 (3時間) : 9時開始 12時終了

午後 (4時間) : 13時開始 17時終了

2) 本部企画シンポジウム **(一般無料開放)**

会場 : 広島工業大学 ネクサス21 各講義室

*一般無料開放ですので, 当日はお知り合いをお誘い合わせの上, 直接会場へお越し下さい。

3月21日 (水) 午後9時から12時

H4 テーラーメイド工学が拓く未来社会

3月21日 (水) 午後1時から5時

H2 女性エンジニアの育成・支援の現状ー中高生から未来のエンジニアに向けてー

3月22日 (水) 午後9時から12時

H1 スマートシティと技術者倫理

H3 スマートグリッド特別研究グループの活動報告

H5 社会が求める技術者の育成ー小学生から社会人までー

H6 技術は明日を明るくするー顕彰活動の協力に向けてー

③特別講演 **(一般無料開放)**

日時 : 3月22日 (木) 14時から16時50分 (予定)

会場 : 広島工業大学 ネクサス21 デネブホール

講演 : Dingguo Qin 氏 (中国電機工程学会副会長)

三村泰臣 氏 (広島工業大学教授)

・秀吉の時代の舞が息づく広島の神楽

合原一幸 氏 (東京大学教授)

・数学で世界を理解する

*中国電機工程学会と本会は協力協定を締結しており, 隔年招聘して特別講演をお願いしています。

④授与式

日時 : 3月22日 (木) 16時50分から17時35分 (予定)

会場 : 広島工業大学 ネクサス21 デネブホール

受賞者 : 第5回電気技術の顕彰制度「でんきの礎」

⑤附設展示会 **(一般無料開放)**

日時 : 3月21日 (水) 10時から3月23日 (金) 14時

会場 : 広島工業大学 ネクサス21 エントランスホール

⑥懇親会

日時 : 3月22日 (木) 18時から20時

プレスリリース

会 場：広島工業大学 ネクサス21 リーフガーデン
 会 費：一般4,000円，学生・同伴家族2,000円（税込み）

⑥技術見学会

（コースA）

（株）日立製作所笠戸事業所および～第1回でんきの礎 顕彰先を訪ねて～岩国
 市立岩国学校教育資料館 <3月21日一日コース>

（コースB）

中国電力（株）島根原子力発電所および出雲大社

<3月23日一日コース>

4. 参加費

①講演者参加費

下記の参加費には、掲載料，全論文収録DVD-ROM1枚，希望分冊1冊がセットされる。

	正員参加費	准員参加費	学生員参加費	シンポジウム講演者 (非会員は無料)
1頁もの原稿	10,000円	7,000円	6,000円	10,000円
2頁もの原稿	11,000円	8,000円	7,000円	

(不課税)

②聴講者参加費

下記の参加費には，全論文収録DVD-ROM1枚がセットされる。

	会員（不課税）				会員外（消費税込み）	
	正員	准員	学生員	シニア会員	会員外	会員外の学生
事前申込み参加費	8,000円	6,000円	4,000円	4,000円	18,000円	7,000円
当日申込み参加費	10,000円	8,000円	5,000円	5,000円	20,000円	8,000円

*シニア会員は，シニア向け電気学会年会費減額制度適用者

*会員には「電気学会事業維持員会員，電気，電子情報通信，照明，映像情報メディア，情報処理の5学会または技術士会いずれかの個人会員」あるいは，大会委員会が認めた学協会の個人会員

5. 論文集（分冊）・DVD-ROMの出版

分野別分冊（第1～第7）による印刷版論文集および全論文掲載のDVD-ROM版（1枚）を出版。（発行日：平成20年3月5日）

①大会参加者の追加購入

(消費税込み)

	会員（正員，准員，学生員）		会員外（学生を含む）
	事前追加予約	当日追加	事前・当日追加
論文集	2,000円/冊	3,000円/冊	6,000円/冊
DVD-ROM	3,000円/枚	4,000円/枚	8,000円/枚

* 事前追加予約は2月28日迄に申込みの場合

②大会不参加者の購入

(消費税込み)

	会 員	会員外 (学生を含む)
論文集	3,000 円/冊	6,000 円/冊
DVD-ROM	6,000 円/枚	12,000 円/枚
梱包・送料	一律 1,000 円	

* 会員価格は 2 月 28 日迄に申込みの場合で、以降は会員外と同一価格

6. その他

- ①出版販売課職員による書籍特価セール
- ②総務課職員による新入会受付，会費支払・情報変更受付など
- ③会期中の委員会への会議室提供サービス
- ④大会会場での LAN 接続サービス
- ⑤託児室設置サービス
- ⑥IEEJ プロフェッショナル談話室の設置
- ⑦技術者継続教育 (CPD) 受講証明サービス
- ⑧中国電機工程学会との国際交流

7. ホームページ

<http://www2.iee.or.jp/ver2/honbu/03-conference/index.html>

大会・研究会・行事」をご覧ください。

逐次最新の詳細情報を公開しています。

以上

【本件に関する問合せ先】

〒102-0076 東京都千代田区五番町 6-2
HOMAT HORIZON ビル 8F
電気学会 事業サービス課
全国大会事務局

taikai10@iee.or.jp
TEL 03-3221-7313 FAX 03-3221-3704

(付録)

本部企画シンポジウム (H1～H3) 概要

H1 電磁界問題の最近の動向

(電気学会電磁界生体影響問題調査特別委員会および生体および医療における磁気応用調査専門委員会)

世界保健機関 (WHO) は、国際電磁界プロジェクトとして平成 8 年よりほぼ 10 年にわたり「低周波電磁界の安全性に関する調査研究」を進めた。その結果は、平成 19 年 6 月に WHO より環境保健クライテリアとして公表された。国内でも経済産業省が同年 4 月に電力設備電磁界対策 WG を立ち上げた。このような背景を踏まえ、本シンポジウムは、電磁界生体影響問題調査特別委員会と生体および医療における磁気応用調査専門委員会が提案するものである。

電磁界生体影響問題調査特別委員会は、低周波電磁界の健康への影響に関する問題の調査および文献評価などの活動を平成 7 年より開始し、平成 10 年には第一期の、また平成 15 年には第二期の報告書をそれぞれ作成した。さらに平成 13 年に「電気の暮らしと健康不安」なる小冊子を出版し、電磁界問題を学会会員外も理解しやすいスタイルの啓蒙活動を行ってきた。この間、平成 13 年電気学会全国大会でシンポジウム (課題名：低周波電磁界環境の実態と評価) を開催し、学会会員に特別委員会の活動成果をあまねく還元した。

電磁気現象を用いた医療への応用研究は、1950 年代後半の保田らの骨の圧電気現象の発見を契機として研究がなされてきた。近年は、MR I 装置など磁気を応用した様々な機器が医療分野に使われるようになってきている。生体および医療における磁気応用調査専門委員会は、これまで 3 年間にわたり磁気現象の生体および医療への影響ならびに応用についての調査を (平成 19 年度最終年度) 進めてきた。

このような状況を考え、平成 20 年全国大会において、調査特別委員会および調査専門委員会が中心となり、電磁界の健康影響評価、ならびに電磁界現象の応用を考えた基礎的研究の成果等につき、これまでの主たる成果、昨今の研究動向を紹介することを通して、調査活動の成果を電気学会員に広く紹介するために本シンポジウムを提案する。

本シンポジウムを通して、電磁界の健康影響問題の現状ならびに電磁気現象の医療への応用について、電気学会会員が有益な情報を得られること、電気と生物・医学という学際的で異分野間の積極的な交流の場が設けられることが期待される。

H2 パネル討論：「技術者倫理」に関する事例について

－会員支援のための倫理委員会の活動－

技術者倫理に関する会員相互の認識を深め、今日性のある行動規範を策定・共有していくことを目的として、2005 年 4 月から 2 年間、学会内に「技術者倫理検討委員会」(委員長：関根泰次東京理科大学教授) が設置され、技術者倫理に関する「行動規範」ならびに「事例集」をとりまとめた。

これを受け、電気学会理事会の決定により、2007 年 5 月より、恒常的活動を行うための「倫理委員会」(委員長：川村隆 元電気学会会長 (日立製作所)) が設置され、会員への支援を目的とした取り組みが開始された。

技術者倫理については、個々の各人で置かれている状況が異なること、認識が個々人で必ずしも同じではないこと、何を行動規範とすべきかについても多種多様なものが考えられることから、会員での討論を行い、その趣旨の浸透と実践への手助けとすることが重要である。

このため、シンポジウムを開催し、倫理委員会の活動を会員に周知するとともに、会員が学会内外の活動で経験すると想定される具体的事例を元に広く討論を進めることによって、共通認識を高め、学会員や学会の行動に役立てることとしたい。

H3 実力ある電気技術者の育成（大学から社会人まで）

エネルギーと環境の世紀と言われる21世紀においても、電気電子工学が果たすべき役割は依然として大きく、その期待に応えるための人材をいかにして育成・確保していくかは重要課題である。その一方で、若者の理工系離れや、その中でも電気電子工学関連の志望者が減少していることが深刻な問題となっている。こうした状況にあって、電気学会は、最新の研究情報交換の場を提供すると同時に、関連技術分野の教育に対しても、多面的かつ深くかかわっていくことが求められている。

現在、電気学会の技術者教育関連事業は、総務企画理事が委員長を務める技術者教育委員会およびその中に設置されている部会を中心として、関連の組織と緊密な連携を取りながら進められている。このシンポジウムは、電気学会の技術者教育に対する様々な取り組みをご理解いただき、会員各位の積極的な活用につなげていくことを意図して企画されている。また、教育を通じた電気学会の社会貢献により、新たな会員の輪が広がることも期待している。

以上